

# KaBoSコレクション2025 金賞『Y駅発深夜バス』

青木知己、東京創元社

勝本書店が全カぞおすすめのある文庫を送定するKaBoSコレクション。今回の金賞は、『Y駅発深夜バス』です。

5つのミステリーがバリエーションされている短編集です。短編なので、読みやすいのもうひとつの強みですが、一番のおすすめポイントは、1つ1つのミステリーの趣向が全部ちがっていて、そのどれもが満足度満点、ということなんです。

1話目の表題作「Y駅発深夜バス」。深夜バスに乗った男が見た奇妙な光景。パルクエリアの真暗な休憩所を何かにとりつかれたように窓の外を見る数人の人たち。不気味に思いつき帰った男に、妻がこう言います。「そんな時間に深夜バスの運行はない」と。これ、完全にホラーじゃないか？でも、ホラーではなく、ラストまでいよいよ明らかになるんです。真相がわかった瞬間、恐怖ではなく驚きでゾクゾクと肌骨が立ちました。そして、この作家さんのことをずっと追いかける！と決めまくらに惚れ込みました。

5話目の「特急富エ」は、アリバイ工作にちかちか必死すぎて笑えまくらい。こたはにドタバタしていて、この話一体どうなるの？と思っていたのですが、やっぱりすごい。最後には、「そう来たか！」と拍手したくなりました。

他の3話も全部表情が違って、ひとりの作家さんが1冊の本でこんなことができるなんて、本当に、本当に、すごい！！それぞれ全くちがう輝きを放つこの本は、まるでミステリーの宝石箱のよう。どうかこの宝石箱を開いてみてください。1話1話読み終えるたびに、きっと美しく輝くことと思います。

勝本書店グループ全店が自信をもって心から『Y駅発深夜バス』をおすすめいたします。皆さまにこの最高にカッコよく、美しい1冊が届きますように。

勝本書店 KaBoS 北国書林 きくざわ書店



時刻表にない深夜バス。  
乗務員や乗客たちの行動が不気味で、まるで悪い夢を見ているかのよう。しかし全ての出来事にはちゃんとした理由があった。途中に**ヒントがあるのに真相に全く気づくことができませんでした。**

SuperKaBoS 鯖江店 峯森

どの作品もそれぞれ異なる面白さがあり、一冊で多様なミステリーを楽しめる短編集です。表題作「Y駅発深夜バス」は、**何かがおかしいと感じさせるゾクゾクする雰囲気**がたまりません。

KaBoS ららぽーと新三郷店 笹倉

読後、**背中がゾワゾワ、お尻がソワソワ、嫌ミスとも一味違う。**

KaBoS ららぽーと新三郷店 大塚